

物質化学専攻	研究分野	分子機能解析化学	Lab. ID MC16
研究室Webサイト	http://kohka.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/lab7/index-i.html		
研究課題の概要			
<p>私達は、化学の力を駆使して化学・食品・医薬品などの幅広い産業に役立つ新規機能性有機材料を開発し、人の健康や環境、エネルギーの諸問題の解決に寄与する研究を目指しています。</p> <p>具体的には、天然物または合成物を問わず、既知の機能性有機化合物の構造を様々な化学的手法により詳細に解析し、機能と構造の相関を明らかにします。得られた相関データを基に、計算化学による解析を併用して既存のものより高機能な類縁体や新規機能を有する誘導体を設計します。さらに戦略的有機合成により、効率良い目的有機化合物の構築に至るといった一連の課題に取り組んでいます。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>化学の基本的知識を網羅し、様々な分析機器の原理と使用方法に習熟してもらいます。その上で、社会で実践的に役立つ科学的素養とコミュニケーション力を身につけてもらいます。各学生には独立した研究テーマを設定します。研究室のメンバーと積極的な議論を重ねながら研究を遂行し、問題解決能力を涵養してもらいます。また、英語論文をまとめて紹介するゼミを実施し、プレゼン能力と英語力の向上に努めてもらいます。</p> <p>身に付けた能力を発揮する場として学会に参加し、講演をします。後期課程院生は、国際学会での発表を行い経験を積みます。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>自由闊達な雰囲気の下、伸び伸びと研究を行うことで、創造力とバランス感覚を磨くことができます。その反面、責任感を持つ行動をとることが大事です。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>“Boys, be ambitious! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.”「青年よ大志をもて。それは金銭や我欲のためにではなく、また人呼んで名声という空しいもののためであってはならない。人間として当然そなえていなければならぬあらゆることを成しとげるために大志をもて」(William Smith Clark)</p>			
研究室連絡先メールアドレス	本田光典 <honda *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		